

心キラッ！栗原っ子

尾道市立栗原小学校
校長室だより NO. 3
平成28年 6月27日



6月の花といえば露草の花。万葉集にも歌われ、古くから日本人に親しまれている花です。露草は青い花が多いですが、実は花弁は3枚あり、2枚が大きい青色で、その下に1枚白く小さい花びらがあります。

この時期、青い花というと紫陽花もありますが、青い花は意外と少ないなあと感じます。春に咲くチューリップは色とりどりですが、青色だけありません。自然界には空の青、海の青とたくさんあるようなのですが、青色を生み出すのは実はすごく大変なのだそうです。

改めて、青色発光ダイオードの発明でノーベル賞を受賞した日本人、赤崎さん・天野さん・中村さんの研究の壮大さに感嘆してしまいます。赤や黄緑は昭和30年代後半から昭和40年代前半の間に発明され、赤・黄緑・橙色のLEDが実用化されました。けれども、青色だけはなかなか発明されず、20世紀中には無理と言われてきました。それを日本人3人の研究が打ち破り、平成5年に世界ではじめて青色発光ダイオードが実用化されたのです。青色が揃ったおかげで白色光を生み出すことができ、広く照明の世界に活用できるようになりました。青色の登場により、いろいろな色が表現可能になりました。LEDは省エネの切り札として社会に広まりました。中村さんたちの発明が世の中を明るくしたのだということを実感します。

社会を大きく豊かにしたのは、日本人3人の地道な研究です。子供達には難しいと思うことでもチャレンジし頑張る力を身につけてほしいと願うとともに、それを支援できるよう努力したいと思います。

6月の児童会目標達成に向けて取り組んでいます！！

「つくろう 感じ取ろう 気持ちのよい学びの場

～美しい姿勢としずかな学びの場～

栗原しぐさの一つ「気持ちのよい学びの場」づくりは、今年度の重点取組課題です。

6月の児童会目標である「美しい姿勢」と「しずかな学びの場」を実現することは、自分自身の学習に向かう気持ちを整えるとともに、友達の学習に向かう気持ちも大切にしていることとなります。

美しい姿勢を身につけるために、授業の初めには、どの学級も「3つのび(せなかびん あしびたつ 目をびつ)」を意識しています。姿勢を整えることで、学習に向かう気持ちも整えています。この「3つのび」は、人の体の大黒柱である腰骨を立てて正しい姿勢を保つ「立腰姿勢」のことです。立腰姿勢を保つことは、健康面・体力面に効果があるだけでなく、精神面においても脳の血液循環がよくなるため、やる気や集中力がつくという効果、さらには、学習面においても集中して粘り強く考えることができ、思考力・判断力がつくという多大な効果があります。



また、6月、静かな学びの場のために取り組んでいることは、教室移動です。おしゃべりの声をなくすだけでなく、足音もできるだけ起てずに移動することを意識しています。学年が上がるにつれて定着度は高くなっています。さすが、6年生は静かに移動できていて、児童集会の時に全校児童に静かに移動する姿を見せてくれました。

どちらも「気持ちのよい学びの場」として大切にしていきたいと思います。